

第1号様式（第7条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 市 長		平成 27 年 7 月 4 日
報告者の住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都市南区西九条森本町65番地		報告者の氏名（法人にあっては、名称及び代表者名） 洛陽交運株式会社 取締役社長 桑田 昌宏 075-691-8104
京都市地球温暖化対策条例第22条第2項の規定により報告します。		
環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	グリーン経営認証	
適 用 範 囲	本 社	
導 入 年 月 日	平成18 年 7 月 20 日	
認 証 番 号	C 2 6 0 0 0 6	
基 本 方 針	「京都議定書」を生み出した京都を基盤とする旅客運送事業者として、環境保全活動に取り組み、法令等を遵守し、地域に貢献し、企業活動と自然環境の調和を目指して社会的責任を果たします。	
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	温室効果ガス排出量を基準年度比（平成20年～22年度平均）より3%以上削減する。	
目標を達成するための取組の内容	室内温度の適正化・アイドリングストップ車両を随時導入・環境教育を行いエコドライブを実践・法定点検項目に加えて、環境項目での車両点検・GPS無線による効率のいい走行を行う。	
目標を達成するための取組の進捗状況	全て実施済み。	
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	当初計画どおりに取り組むことができている。	
事業活動に係る法令の遵守の状況	関連法規の遵守状況について1ヶ月に一度確認を行っている。これまで違反及び行政当局からの指摘はなかった。	
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	評価・見直しの必要性については、更新及び定期審査の際、検討している。導入以来、一定の成果が見られるので、本年度も同一のシステムにより運用した。	

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。